

「職場体験」ようこそ公民館へ！

8月31日(水)～9月2日(金)の3日間、野上中学校2年生の2人が、中央公民館で職場体験してくれました。目的は、①職場体験を通して、「働く」ことについて考えを深める機会とする。②地域の人々との交流を通して、コミュニケーション能力を育む。③礼儀、言葉づかい、時間厳守などのマナーを身につけるです。

「職場体験学習」は、野上中学校では「わくわくワーク」という名前で実施していますが、そもそも「職場体験学習」は、兵庫県で始まりました。

1995年1月17日、^{ほんしん あわじだいしんさい}阪神・淡路大震災、1997年の^{こうべ}神戸連続児童殺傷事件を機に、1998年に「トライやる・ウィーク」として県内の中学2年生を対象に、地域について学び「生きる力」を育むことを目的に5日間実施されました。その後、全国的に広まっていきました。コロナ禍で中断していた野上中学校も3年ぶりの実施となりました。

初日、少し緊張気味の2人でしたが、あいさつの後、12月に予定している「紀美野ふれあいマラソン大会」の^{かいさいようこう}開催要項の^{はっそうさぎょう}発送作業をしてもらう中で、少しずつなじんでくれました。午後は、^{さいがい}災害時にも役立つ「新聞紙で造るバッグ」を「ふれあいルーム」の小学生を相手に、^{いっしょうけんめい}一生懸命教えてくれました。2日目は、「公民館って何をしているところ？」という題で、タブレットを使って作成してもらいました。写真はもとより説明文を考えるのも大変そうでしたが、職員に質問をしながら^{ちよくちよく}黙々と^{ちようせん}挑戦してくれました。3日目は、図書室事務の体験でした。本の貸し出しで地域の方とふれあう場面もありました。

体験を終えて、「小学生のお世話が一番しんどかったけど、お世話するのも楽しかった。一番楽しかったのは、図書室で本の整理をしたことでした。公民館では、つなぐ・まなぶ・むすぶを大切にしていることが分かりました。公民館のよさを中学生に伝えてきます。」

「結構難しそうで大変だと思っていたけど、やっぱり大変でした。一番大変だったのは、ふれあいルームの手伝いでした。どんな本が借りられているのか疑問でしたが、答えが分かってうれしかったです。」

公民館って何をしているのか、わかりづらい面もあるので大変さはあったと思いますが公務員の仕事の一端を体験してもらい、私たちも勉強することが多かったです。今後、中学生の来館が増えるのを期待しています。

(令和4年9月10日)

